



情報モラル講演会 全小中学校でも年1回スマホ・ネット利用に関する学習会を実施しています

人権デーと人権週間  
1948年12月10日、「世界人権宣言」が国連総会で採択されました。国連はこのことを記念し、12月10日を「人権デー」と定めています。国内でも、人権デーを最終日とした1週間を「人権週間」とし、様々な人権啓発活動が全国

12月4日～10日は  
人権週間です

タイトルは、2018（平成30）年人権啓発カレンダー「ふれあい」掲載人権標語、太田恭介さん（播磨中学校1年）の作品です。スマホは町内の子どもたちの間でも急速に普及しています。小学生が主にゲームをするのに対し、中学生になると多くがLINEをするようになります。文字のみによるコミュニケーションは思わぬ誤解を生じたり、時には相手の心を傷つけたりすることもあります。本当の気持ちをかよいあわせるためにはどのようにしていけばいいか、ご家庭でも話し合ってみませんか。

12月4日～10日は人権週間です  
「スマホより目と目で会話かよわせて」

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079（435）0565

播磨町町制施行55周年 55th anniversary

「こころふれあう 町民のつどい」講演会  
スマホ・ネット時代の子どもと人権



尾木 直樹さん（尾木ママ）  
（教育評論家／法政大学特任教授／臨床教育研究所「虹」所長）

▼日時 12月10日（日）13：00開場  
13：30～15：30

▼場所 中央公民館 大ホール  
入場無料。定員400人。来場者多数の場合、入場できない場合があります。ご了承ください。駐車場には限りがありますので、徒歩か自転車でお越しください。

▼問合せ 生涯学習グループ  
☎079（435）0565

特設人権相談を開設

いじめ、いやがらせなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。（予約不要）

▼日時 12月1日（金）午後1時～3時

▼場所 福祉しあわせセンター

▼問合せ 福祉グループ  
☎079（435）2362

播磨町の  
新しいPRポスターが  
完成しました

▼問合せ 企画グループ政策調整チーム  
☎079（435）0356

「播磨町のひと」をテーマに、町内で働く人・暮らす人にフォーカスしたPRポスターを新たに2種類作成しました。このポスターを通じて、笑顔あふれる播磨町の魅力を、町内の人にはもちろん町外の人にも知っていただき、播磨町への移住や定住につなげていきたいという思いがこめられています。ぜひ注目ください。

▼掲示場所

役場をはじめ、町内各公共施設や県内外のイベントなどで、随時掲示、活用していく予定です。



▲播磨町PRポスター第1弾  
まちの象徴的な風景をデザインしました。

◀暮らし編

播磨町の観光名所として有名な大中遺跡（国指定史跡）の古代住居が背景のこちらのバージョンは、中央コラージュ部分に町内で暮らしている人をモデルとし、笑顔あふれるまちの様子が一目で伝わるようなデザインにしました。上からのぞいているのは、播磨町公式マスコットキャラクターのやよいちゃんです。



▶はたらく編

播磨町の海の景色として代表的な人工島（新島）を通して見える瀬戸内海を背景に、実際に町内で働いている人や活躍している人にモデルといただきました。また、下から播磨町公式マスコットキャラクターのいせきくんが、まちの様子をのぞいている愛らしい様子が特徴となっています。



小中学生の人権作文・詩を紹介します

「今争っている人たちへ」

播磨中学校 1年 柳川果穂

「暴力で、人に、いうことをきかせようとせんとつて」

4つ下の妹が、先日、私に言った言葉です。私は、ハッとさせられました。まさにそのとおりです。個人が、何か自分のしたいと思つたことを思いどおりに進めるために、暴力で従わせようとしたら、喧嘩になったり、虐待になったり、いじめになつてしまふと思ひます。もし、それが国家レベルで行われれば、侵略になったり、戦争になつたりすると思ひます。

最近、テレビや、新聞、ネット上では、ミサイルや核爆弾、核兵器、テロ事件など、多くの穏やかではない言葉を見たり、聞いたりするようになりまし。世界が、何かザワザワとして落ち着かない雰囲気が強くなつてきているように感じます。

世界中で、テロ事件によるたくさんの方の犠牲者が生まれています。また、ミサイル発射実験や核実験を繰り返して、他国を挑発したり、脅したりして、世界中に緊張感を走らせている国もあります。なぜ、

テロや兵器を交渉の道具にする国があるのでしょうか。強力な軍事力が交渉には有利になるのでしょうか。

第二次世界大戦が終わり、今年で72年になります。今年もまた8月には、戦争の話や原爆の話をする機会が多くありました。私たちの国日本も、第二次世界大戦では、武力をもって他国を従わせようとした国です。そして、その結果、日本にも、戦争をした相手国にも大きな犠牲を払つただけでした。

そういつた歴史があるのに、それを反省せず、また、世界中を巻き込んだ戦争を起こそうとしている国は、いったい何を考えているのかと思ひます。私は、幼いときに、友達の手つておもちやが欲しくて、その友達にかみついてけがをさせたことがあります。その後、両親とその友達の家に謝りに行きました。私はまだ幼かつたですが、暴力で望んだものを奪い取ることはいけないことだと、深く反省しました。そんな行為は悪いことだ、力づくで何でも思ひどおりすることは間違つていて、そのときの私のような幼い子どもでもそんなことぐらひは分かりま

した。それなのに、今、紛争を起こしている、あるいは起こそうとしている人たちは、なぜ、そんなことがわからないのでしょうか。それどころか、我々のしていることは「正義」や「聖戦」だから、何も間違つていないなどと、勝手な理屈を言っています。

正直に言えば、第二次世界大戦なんて、遠い昔に終わったことで、私はあまり興味がありませんでした。いま世界で起こっている紛争も、遠い国の話で、私には関係のない事だと思つていました。しかし、今回、妹の言葉をきつかけにして、姉妹の喧嘩も、国どうしの戦争も、宗教上の対立もあり変わらなないのではないかといろいろと考えるようになって、興味・関心が強くなりました。そして、この妹の言葉を、私だけでなく、「暴力」で何かを得ようと考へている国や、人たちにもぶつかけたいと思ひました。

「暴力」に対して「暴力」で応じてしまえば、そこには必ず犠牲が生まれます。自分の身も心も無傷ではすみません。「暴力」で何かを得ても、本当の意味での「満足感」は感じられないでしょう。まさに、

「暴力で、人に、いうことをきかせようとせんとつて。」です。

「ぼくの手」

播磨南中学校 2年 神戸涼羽

ぼくの手は 人を助けることができる  
反対に 人を傷つけることもできる  
ぼくの手は 人を抱きしめることができる

反対に 人を突き放すこともできる  
使い方は無限大  
使い方はよく次第  
そんなとき思ひ出すのは  
父と母の手

ぼくを叱つてくれた父の大きな手  
ぼくを抱きしめてくれた母の優しい手  
この二人に愛されながら  
ぼくはいまここにいて  
だから今度はぼくの番  
いつか生まれる子供のために  
そのときが来たら伝えたい  
その小さな手に  
たくさんの愛を

「私の妹」

蓮池小学校 4年 櫻井仁織

笑顔がかわいいよ  
動作がおもしろいよ  
ダンスが大好きで上手だよ  
私があーんつてすると食べ物くれるし  
私が出かけるときびしそうにするんだ  
これが私の妹

わがままで泣き虫  
すぐおこつてすぐかむ  
人の口を手をつっこむ  
大事な物にイタズラするし  
キケンな物をさわりたいがる  
これが私の妹

でも仕方がないよね  
大事な物もキケンな物も  
ゴミも口の中までも  
きょう味しんしんなんだよね  
わがまま言うのも  
おこつて泣いたりかんだりするのも  
自分の気持ちが伝えられないからだよ  
ね

お姉ちゃん知つてるよ  
だって大好きな妹だもん  
もつともつと  
気持ちわかつてあげられるようになるね  
これが私たち姉妹

「ヘアドネーション」  
播磨南小学校 4年 山下誠太郎

ヘアドネーションとは、頭皮やかみの毛に関係する病気が原因でかみの毛をなくしてしまつた人たちのために、医りよう用ウィッグを寄付することです。

ぼくの妹は、おしりくらいまでの長いかみの毛を切ることにになりました。かみを切る前に、ドレスを着て記念の写真を撮りました。お父さんとお母さんは、切つたかみの毛をヘアドネーションにすることをすすめました。ぼくも、かみの毛がない人が笑顔になれるなら切つたかみを寄付するのはとてもいいことだと思ひます。

妹は最初、かみを切ることを楽しみにしていましたが、ヘアドネーションにすることはいやがりました。美容院で切つたかみを家に持ち帰ると、記念に置いておきたいと言ひ出しました。ぼくも、自分の体の一部がはなれてしまつたらちよつと悲しい気持ちになります。妹もぎつと同じ気持ちかも知れません。

何日かたつて、お母さんがそろそろかみを送ろうかと言つと、妹は泣き出してしまいました。私のかみの毛だからだれにもあげたくない。知らない人にあげたくないと言つて泣きました。



みんなでむしとり たのしかったよ!  
播磨西幼稚園 (5歳児) なかたに りな

お母さんは、かみを結つたり、ピンでとめたり、カチューシャをしたりするのがしたくてもできない子がいるよ。このかみの毛で、そんな子たちがピカピカ笑顔になれるのよ。と話してくれました。でも、妹はやつぱり泣いています。ぼくだったら、自分のかみの毛でだれかが笑顔になれるならよこんで寄付してもいいと思ひます。美容院で切つた妹のかみの毛は、まだ家にあります。お母さんやぼくは、妹がいいよつて言つたまですつと待つことにしました。今は切つたばかりだから、妹の気持ちもよくわかります。でも、いつかぎつと、自分のこのかみの毛を送つてあげてもいいよつて言つてくれる日がくるとぼくは思ひます。妹のかみの毛で、だれかがぎつと笑顔になれるはずだと信じています。



おともだち だいすき  
蓮池幼稚園 (4歳児) やまもと こうせい



ともだちと よーいどん  
播磨幼稚園 (3歳児) いぢち さら